

作成 令和3年12月18日

摂津市議会議員 松本暁彦

令和3年第4回定例会一般質問 ～本会議2日目 令和3年12月15日～  
議事録（抜粋）

#### 4 健都発展の取り組みについて

##### (1) エリアマネジメント等について

###### 質疑概要

健都は、本市にとって市民の健康寿命の延伸、産業の活性化、全国発信でのPRの3つの大きな目標があり、本市発展に大きく貢献するものと期待されている。その期待を実現するためには、ハード面・ソフト面の両方から健都発展を促していく必要がある。

改めて、健都の発展状況を確認するとともに、ソフト面での発展への政策であるエリアマネジメント等について議論を行った。

#### ○松本議員

健都発展の取り組みでの、エリアマネジメント等について、健都は、本市にとって市民の健康寿命の延伸、産業の活性化、全国発信でのPRの3つの大きな目標があり、本市発展に大きく貢献するものと期待されています。

改めて健都まちづくりの進捗状況についてお聞かせください。

(略※)

#### ○南野議長

保健福祉部理事

#### ○平井保健福祉部理事

健都まちづくりの進捗状況についてのご質問にお答えいたします。

健都のまちづくりにつきましては、平成28年3月の明和池公園の供用をはじめに、医療拠点といたしましては、国立循環器病研究センター、吹田市民病院が開院され、住居といたしましては、大規模マンションや、「健康・医療・介護・多世代交流」をテーマとした高齢者向けウェルネス住宅が建設されました。その他、健都レールサイド公園、健都ライブラリー、ドナルド・マクドナルド・ハウス大阪健都、商業施設などが整備されて参りました。

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

今後につきましては、健都イノベーションパーク内への健康・医療関連企業の進出と、令和4年4月に開始予定のアライアンス棟への国立健康・栄養研究所の移転の取り組みが進められているところでございます。

このように、健都におけるハード面の整備が進んで参りましたことから、国立循環器病研究センターと国立健康栄養研究所の両研究機関を中心に、健康医療関連企業や、マンション等の地域住民、公園等の実証フィールドになりうる施設を効果的に結ぶ仕組み作りといった、健都の特徴を生かすソフト面の整備を進めていくことが重要であると考えております。

(略※)

### ○松本議員

エリアマネジメント等について、健都まちづくりは着々と進めていると理解しました。

私はこれまでの議会で健都の発展にはエリアマネジメント組織が必要であると提言しています。

エリアマネジメントに関しては議論が進んでいると認識していますが、その取り組みについてお聞かせ下さい。

### ○南野議長

保健福祉部理事

### ○平井保健福祉部理事

エリアマネジメントのご質問にお答えします。

健都におきましては、産学官民の連携により、市民の健康づくりに役立つ製品やサービスを生み出すとともに、市民の行動変容を促す仕組みであるプラットフォームの構築を目指しまして、令和2年11月から令和3年10月末まで、吹田市と共同で、第1期の産学官民連携プラットフォーム構築支援業務を実施し、仕組みの検討や産学をつなぐフォーラム、研究会の開催など試行的取り組みを行い、機運を高めて参りました。

さらに、令和3年11月から令和5年3月までは第2期とし、令和4年4月の国立健康・栄養研究所の移転も視野に入れ、健都における産学官民連携体制の確立を目指して、新たな製品・サービスを目指すための仕組みや、会員登録制の市民サポーター制度の構築、運用を行ってまいる予定でございます。

### ○南野議長

松本議員。

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

○松本議員

エリアマネジメントの進捗、その内容は理解しました。

そのエリアマネジメントは健都発展の鍵となるもので、力を入れ引き続き進められるよう要望致します。

そして国立健康・栄養研究所がいよいよ来年移転予定です。市は同研究所とどう連携して本市や健都の発展に取り組みられるのか、移転支援も含めお考えをお聞かせください。

○南野議長

保健福祉部理事

○平井保健福祉部理事

国立健康・栄養研究所との連携についてのご質問にお答えします。

国立健康・栄養研究所は、国民の健康の保持及び増進、栄養、食生活に関する調査・研究を行う機関であり、民間企業との共同研究などが期待でき、本市が掲げる「健康と医療」をキーワードとした先端的な研究開発によるイノベーションの創出に寄与するものと考えております。

また、同研究所では、これまで本市および大阪府と連携し、フレイル予防に関する取り組みをはじめ、他の自治体とも食事や運動に関する取り組みが実施されているところでございます。

本市といたしましても、今後、健都の地で、こうした取り組みをさらに発展させ、産学官民連携プラットフォーム等を通じ、市民をはじめ、国民の健康寿命の延伸につながる取り組みを連携して実施して参りたいと考えております。

また、移転に伴う費用等の支援策としましては、「国立健康・栄養研究所の北大阪健康医療都市への移転に伴い増加が見込まれる運営上の負担への対応に関する方針」に基づき、大阪府、吹田市、摂津市がそれぞれ約3億円相当を負担することとしております。本市につきましては、設備費用に関して約2億円の補助、人的支援として専門職の派遣を行う予定でございます。

○南野議長

松本議員。

○松本議員

国立健康・栄養研究所については理解しました。

これが市民のために如何に活用・連携するか市の積極的アプローチが必要と考えております。支援策も含め、是非とも進められるよう要望致します。

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

(音声データ等より作成)

重要と思われる部分には強調を入れています。

※当該質問に関係のない他の質問項目の部分は省略しています。

<質問項目一覧>

- 1 児童生徒の生きる力を養う読書習慣の定着化に向けて
- 2 文化活動や地域コミュニティ活動の促進について
- 3 河川防災ステーション上部施設の構想について
- 4 健都発展の取り組みについて**
  - (1) エリアマネジメント等について**
  - (2) イノベーションパークについて

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]